取扱説明書

SANYO

Xactiライブラリ 機能編

準　備

コピーする

再生する

整理する（アルバム）

付　録

Xactiライブラリとは

- 「Xactiライブラリ」とはXactiライブラリ機能を搭載したカメラに外付けハードディスク（市販品）を接続して、カメラ内の記録ファイルを外付けハードディスクにコピーしたり、外付けハードディスクにコピーしたハイビジョン画質の画像を撮影した時の画質でテレビで見ることができる機能です。
- ご使用になるカメラがXactiライブラリ機能搭載しているかは、カメラの取扱説明書をご覧ください。
- 接続できるハードディスクは、この説明書の35ページ「仕様」をご確認ください。
- この説明書に記載しているカメラや外付けハードディスクのイラストは、お使いの機器とは形状が異なる場合があります。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の「安全上のご注意」も必ずお読みください。また、後々のために本書とともに大切に保管してください。

本書の読みかた

この説明書では、次の記号でお知らせします。



もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項



特に注意していただきたい事項

[P　] 参照ページ

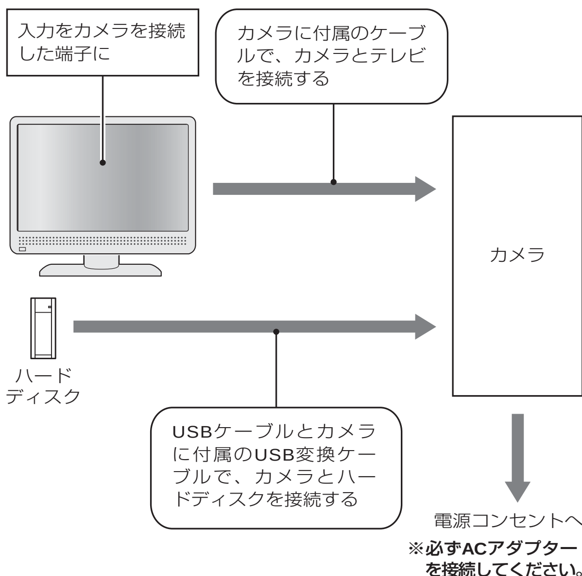
Xactiライブラリを使ってみよう

準備する

1 カメラと各機器を接続します。

※カメラおよび各機器は、電源を切った状態で接続してください。

※詳細は、カメラの取扱説明書をご覧ください。



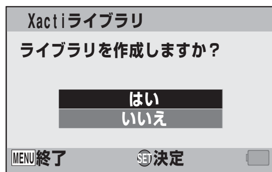
Xactiライブラリを使ってみよう(つづき)

ライブラリを作成する

初めて Xacti ライブラリで使用するハードディスクの場合は、ハードディスクにライブラリを作成します。

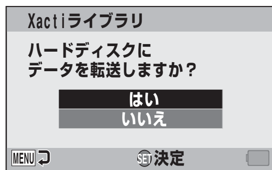
2 カメラ→ハードディスク→テレビの順に電源を入れる

- ライブラリ作成の確認画面が出ます。



3 [はい] を選んで [SET] ボタンを押す

- ライブラリを作成します。
- ファイルの転送を確認する画面が出ます。



ファイルをコピーする

カメラのファイルをハードディスクにコピーします。

4 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。



5 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、転送完了の確認画面が出ます。

6 [SET] ボタンを押す

- Xactiライブラリメニューが出ます。

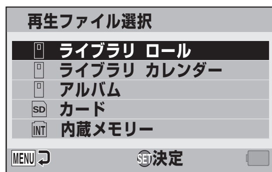


Xactiライブラリを使ってみよう(つづき)

再生する

7 [再生ファイル選択] を選び、[SET] ボタンを押す

- 再生ファイル選択画面が出ます。



8 [ライブラリ ロール] を選び、[SET] ボタンを押す

- ロールの一覧が出ます。



9 再生するロールを選び 、[SET] ボタンを押す

- 後の操作はカメラでの再生操作と同じです。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってから、ハードディスクやテレビの電源を切ってください。

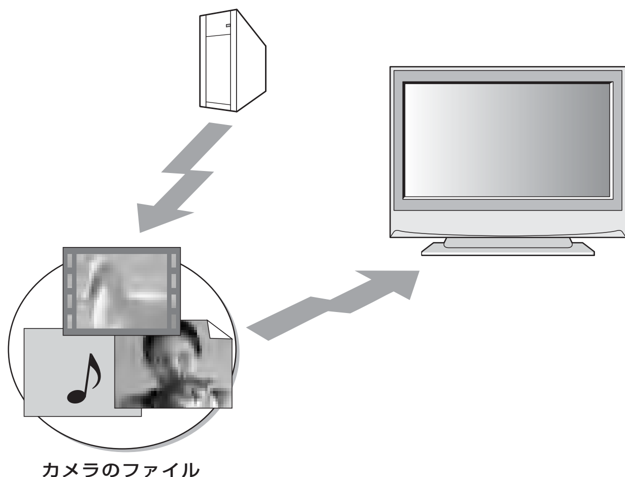
もくじ

Xactiライブラリの楽しみかた

Xacti ライブラリは、カメラのカードに格納しているファイルをパソコンを使うことなく大容量ハードディスクに保存し、管理 / 再生するシステムです。

カメラへ、ハードディスクへ、ファイルをかんたんコピー

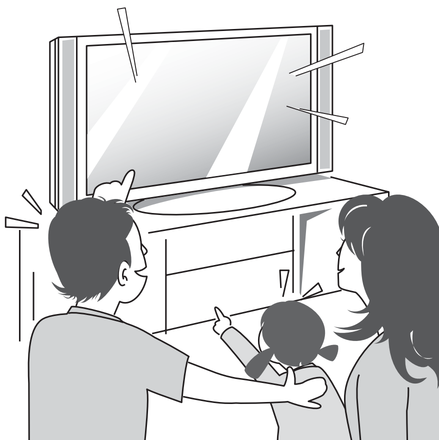
カメラで記録したファイルをハードディスクに、またハードディスクのファイルをカメラに装着したカードにコピーできます。



Xactiライブラリの楽しみかた(つづき)

撮った画像を高画質のまま再生

ハードディスクのファイルを直接テレビに出力するため、撮影した動画クリップの画質を落とすことなく再生することができます。また、カードのファイルも再生できます。



アルバム機能でファイルを管理

アルバムには、任意のファイルを登録することができます。ハードディスクにコピーしたファイルをアルバムに登録すると、登録したファイルだけをスライドショー再生することができます。




ヒント

- 「ロール」とは、フィルムカメラのフィルムを指し、フィルム1本を1ロールと言います。デジタルカメラの場合、記録したファイルはカード(または内蔵メモリ)に保存するため、1枚のカード(または1つの内蔵メモリ)を1個のロールと言います。例えば、ロール単位のコピーでは、カメラのすべてのファイルをハードディスクにコピーします。

機器をそろえる

Xacti ライブラリで必要になる機器は、以下のとおりです。

カメラ

お手持ちのカメラが Xacti ライブラリ機能を搭載しているかについては、カメラの取扱説明書をご覧ください。

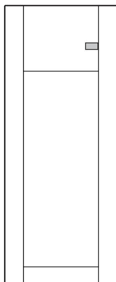
リモコン

カメラに付属のリモコンを使います。



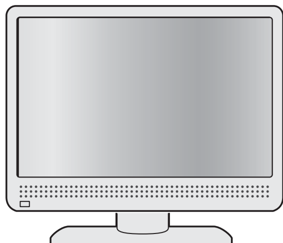
ハードディスク

USB 2.0High-Speed 対応の USB 端子を装備しているハードディスクです。対応しているハードディスクについては、35 ページと弊社ホームページを参照してください。
http://www.sanyo-dsc.com/



テレビ

フルハイビジョン対応のテレビをご用意いただくと、フルハイビジョンで撮影した動画クリップを本来の画質で楽しむことができます。

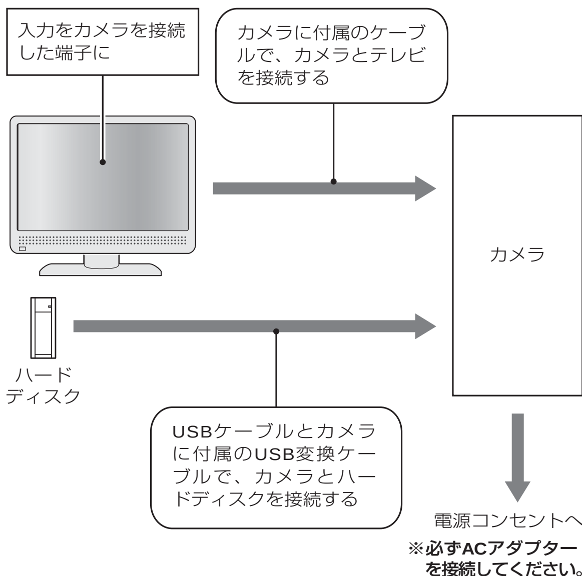


その他

●テレビと接続するケーブル（例：S-AV 接続ケーブル、D 端子接続ケーブル、HDMI ケーブルなど）
●ハードディスクと接続するケーブル（例：USB 接続ケーブル、USB 変換ケーブルなど）
などが必要です。

接続する

各機器を接続します。
※カメラおよび各機器は、電源を切った状態で接続してください。
※詳細は、カメラの取扱説明書をご覧ください。



注意!

取りはずす時の注意

- Xactiライブラリ使用中に、カメラをはずしたり、USBケーブルをはずさないでください。メディアへのアクセス中にUSBケーブルをはずすと、メディア内のファイルが破損する恐れがあるばかりではなく、メディアをフォーマットしなければならない場合があります。
- カメラの取りはずしは、必ず、カメラの電源を切ってから行なってください。電源を切る操作で、 ドライブを正常に取りはずすことができます。

カメラ内のファイルをハードディスクにコピーする

カメラに装着したカードまたは内蔵メモリー内のファイルをハードディスクにコピーします。
※ Xacti ライブラリの操作は、カメラのボタンでもできますが、テレビ画面を見ながらリモコンで操作されることをおすすめします。以降の操作は、リモコンを使って説明します。

■初めて使うハードディスクの場合

Xacti ライブラリを初めて使用するハードディスクの場合は、ライブラリを作成してからコピーします。
操作方法については、ii ～ iii ページを参照してください。

Xactiライブラリメニューを出す

Xacti ライブラリの操作は、Xacti ライブラリメニューから行います。

1 カメラ→ハードディスク→テレビの順に電源を入れる

- 自動的に電源をON/OFFできるハードディスクの場合、カメラの電源操作によって、自動的にハードディスクの電源もON/OFF します。
- 最後に再生したロールの再生画面が出ます。

2 [MENU] ボタンを押す

- Xactiライブラリメニューが出ます。

[データ転送]：カメラのファイルをハードディスクにコピーします。

[再生ファイル選択]：ファイルを再生します。

[アルバム編集]：アルバムを作成したり編集します。



<Xactiライブラリメニュー>

ファイルをコピーする

3 [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。

[転送開始]：ファイルのコピーを開始します[P10]。

[転送設定]：転送の設定をします[P11]。



4 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、転送完了の確認画面が出ます。

5 [SET] ボタンを押す

- コピーが終わったら、Xactiライブラリメニューに戻ります。

日付別フォルダに振り分けてコピーする

撮影年月日ごとにフォルダを作成し、撮影年月日に応じたフォルダにファイルをコピーします。

1 「ファイルをコピーする[P10]」の操作 3 で [転送設定] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面が出ます。

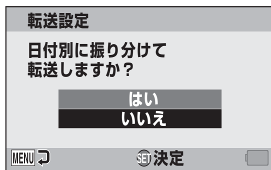


2 [日付別振り分け] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送の確認画面が出ます。

[はい]：日付別フォルダにファイルを振り分けてコピーする

[いいえ]：ロール単位でフォルダにコピーします。



3 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- 日付別フォルダにファイルを振り分けるコピーを設定し、データ転送画面に戻ります。

4 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、Xactiライブラリメニューに戻ります。



ヒント

コピー済みのファイルを日付別フォルダに振り分ける

- Xactiライブラリメニューの[再生メニュー2]から[日付別振り分け]を選んで[SET]ボタンを押すと、コピー済みのファイルを日付別に作成したフォルダに振り分けることができます。

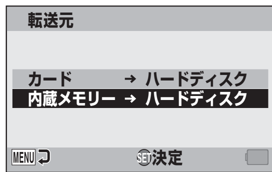
転送元を設定する

カードからハードディスクにコピーするのか、カメラの内蔵メモリーからハードディスクにコピーするのか、転送元を設定することができます。

1 「ファイルをコピーする[P10]」の操作 3 で[転送設定]を選び、[SET]ボタンを押す

- 転送設定画面が出ます。

2 [転送元]を選び、[SET]ボタンを押す



- 転送元を確認する画面が出ます。

[カード→ハードディスク]：
カードからハードディスクにコピーします。

[内蔵メモリー→ハードディスク]：
カメラの内蔵メモリーからハードディスクにコピーします。

3 転送元を選び 、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。

4 [MENU] ボタンを押す

- データ転送画面に戻ります。



データが転送できなくなった？

- カメラにカードを装着していない状態で、[カード→ハードディスク](転送元をカード)に設定すると、カメラからハードディスクへのデータ転送ができなくなります。カメラにカードを装着するか、[内蔵メモリー→ハードディスク](転送元を内蔵メモリー)に設定してください。

ファイル単位でコピーする

コピーするファイルをテレビまたはモニターで確認し、1 個ずつまたは選択して、コピーすることができます。

1 コピー元のファイルを表示する

ハードディスクのファイル：[P16]
カメラのファイル：[P20]

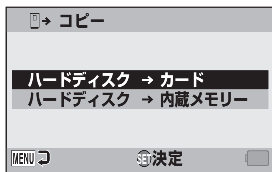
2 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

3 [再生メニュー 2] の [コピー] を選び、[SET] ボタンを押す

- コピー画面が出ます。

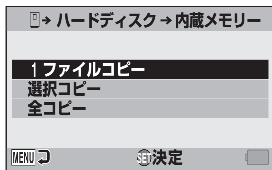
[ハードディスク→カード]：
ハードディスクのファイルをカードにコピーします。

[ハードディスク→内蔵メモリー]：ハードディスクのファイルを内蔵メモリーにコピーします。



4 コピー先のメディアを選び、[SET] ボタンを押す

- コピー方法を選ぶ画面が出ます。



＜例：[ハードディスク→内蔵メモリー]時＞

5 コピーする

- コピーの方法は、カメラでの操作と同じです。


ヒント

ファイルを消去するには

- ファイルの再生画面で消去の操作を行ってください。ファイルを消去する操作は、カメラでファイルを消去する操作と同じです。

ハードディスクのファイルを再生する

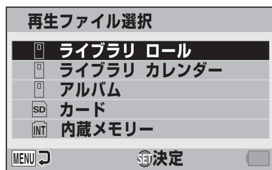
Xacti ライブラリのコピー機能でハードディスクにコピーしたファイルを再生します。

再生ファイル選択画面を出す

再生するデータをロール一覧から指定したり、カレンダーから指定することができます。アルバム [P21] の再生も再生ファイル選択画面から行ないます。

1 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

2 [再生ファイル選択] を選び、[SET] ボタンを押す



<再生ファイル選択画面>

- 再生ファイル選択画面が出ます。

[ライブラリ ロール]：
ロールの一覧からロールを指定します[P17]。

[ライブラリ カレンダー]：
カレンダーから撮影年月日を指定します[P18]。

[アルバム]：アルバムを再生します[P19]。

[カード]：カードのファイルを再生します[P20]。

[内蔵メモリー]：カメラの内蔵メモリーのファイルを再生します[P20]。

ハードディスクのファイルを再生する(つづき)

再生するロールを選ぶ

3 [ライブラリロール]を選び、[SET]ボタンを押す

- ロールの一覧が出ます。



4 再生するロールを選び、[SET]ボタンを押す

- 後の操作はカメラでの再生操作と同じです。

再生するファイルをカレンダーから選ぶ

カレンダーから撮影年月日を指定して、再生します。

1 再生ファイル選択画面を出す [P16]

2 [ライブラリカレンダー] を選び、[SET] ボタンを押す

- 最後に再生した月のカレンダーが出ます。



3 [SET] ボタンを押して、カレンダーの日付を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ日付に撮影したファイルが出ます。
- 後の操作はカメラでの再生操作と同じです。

アルバムを再生する

Xacti ライブラリのアルバム [P21] に登録したファイルを再生します。

1 再生ファイル選択画面を出す [P16]

2 [アルバム] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムの一覧が出ます。



3 再生するアルバムを選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムの再生を開始します。
- 再生中にリモコンまたはカメラのボタンを押すと、再生を中止します。



ヒント

アルバムの画像が変わった？

- アルバムに登録している画像を編集し上書き保存すると、アルバムに登録している画像は編集後の画像に変わります。複数のアルバムに登録している画像を編集する場合はご注意ください。
- アルバムへの登録状況がわからない場合は編集後の画像を新規保存することをおすすめいたします。

カメラのファイルを再生する

接続しているカメラ内のファイルを再生します。

1 再生ファイル選択画面を出す [P16]

2 [カード] または [内蔵メモリー] を選び [SET] ボタンを押す

- 後の操作はカメラでの再生操作と同じです。

アルバムを作成／編集する

アルバムには、ハードディスクにコピーしたファイルを登録することができます。

アルバムを新規作成する

異なる日付に記録したファイルや異なるロールのファイルを登録し、アルバムを作成します。

1 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

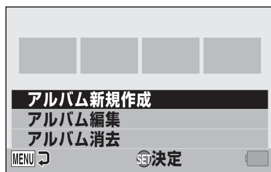
2 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。

[アルバム新規作成]：
新しいアルバムを作成します[P21]。

[アルバム編集]：
作成済みのアルバムの内容を編集します[P26]。

[アルバム削除]：
アルバムを削除します[P30]。



<アルバム編集画面>

3 [アルバム新規作成] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集メニューが出ます。



<アルバム編集メニュー>

4 [追加] を選んで、[SET] ボタンを押す

- 追加データを選択する画面が出ます。

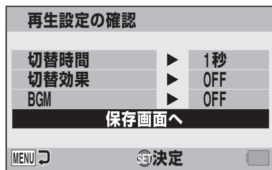


5 アルバムに登録するファイルを選び、[SET] ボタンを押す



- 選んだファイルをアルバムに登録し、アルバム編集画面に戻ります。
- 操作 4 ・ 5 を繰り返して、アルバムにファイルを追加してください。
- ファイルの追加が終わったら、操作 6 に進んでください。

6 [📷] ボタンを押す



- 再生設定の確認画面が出ます。
  再生設定を変更する→[P25]

7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す



- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：作成したアルバムを保存します。

[保存中止]：作成したアルバムを保存しません。

8 [新規保存] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム編集メニュー画面に戻ります。

他のフォルダ/ロールのファイルを登録する場合

1 22 ページの操作 4 の画面で [他のフォルダ] を選び、[SET] ボタンを押す



- フォルダを選ぶ画面が出ます。

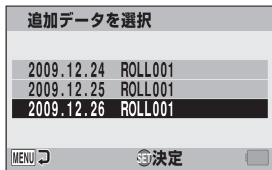
<フォルダを選ぶ場合>

❶目的のフォルダを選んで、[SET]ボタンを押す
❷目的のファイルを選び、[SET]ボタンを押す

<ロールを選ぶ場合>

- 操作 2 へ進んでください。

2 [他のロール] を選び、[SET] ボタンを押す



- ロールを選ぶ画面が出ます。

3 ロールを選び、[SET] ボタンを押す

- フォルダを選ぶ画面が出ます。

4 目的のフォルダを選んで、[SET] ボタンを押す

5 目的のファイルを選び、[SET] ボタンを押す

アルバムを作成／編集する(つづき)

再生設定の確認(スライドショー設定)

再生設定の確認画面では、アルバムの再生を設定することができます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[BGM]：静止画再生中に鳴らす音楽を設定します。



<再生設定の確認画面>

設定を変更する場合

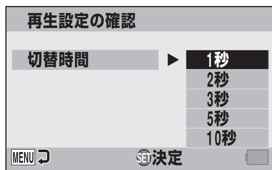
1 設定を変更する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定を変更する画面が出ます。

2 設定を選び、[SET] ボタンを押す

3 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。



<[切替時間]を選んだ場合>

アルバムを編集する

作成済みのアルバムにファイルを追加したり、登録済みのファイルを消去することができます。また、アルバム内のファイルの位置を移動して、再生順序を変更したり、再生の設定を変更することもできます。

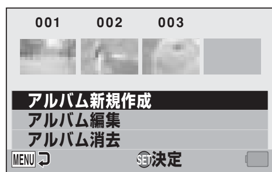
アルバムにファイルを追加する

作成済みのアルバムにファイルを追加登録します。

1 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

2 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。



3 [アルバム編集] を選び、ファイルを追加するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集メニューが出ます。



4 **[追加] を選び、ファイルを追加する位置にポインタを合わせ、[SET] ボタンを押す**

- 追加ファイル選択画面が出ます。
- 他のフォルダ/ロールのファイルを選ぶ場合→P24



5 **アルバムに追加するファイルを選び、[SET] ボタンを押す**

- ポインタのある位置に、選んだファイルを追加します。
- 操作 4 ・ 5 を繰り返して、アルバムにファイルを追加してください。
- ファイルの追加が終わったら、操作 6 に進んでください。

6 **[📷] ボタンを押す**

- 再生設定の確認画面が出ます。
  再生設定を変更する→[P25]

7 **[保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す**

- アルバム保存画面が出ます。



[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書き保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。

[保存中止]：編集後のアルバムを保存しません。

8 **保存方法を選び、[SET] ボタンを押す**

- アルバムを保存し、アルバム編集画面に戻ります。

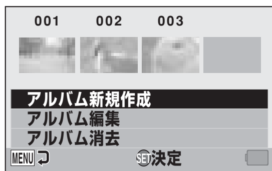
アルバムのファイルを移動する

アルバム内のファイルを移動します。

1 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

2 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。



3 [アルバム編集] を選び、移動するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集メニューが出ます。



4 [移動] を選び、移動するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- ファイルの移動先を指定する画面が出ます。



5 移動先にポインタを合わせ、[SET] ボタンを押す



- 選んだファイルを移動し、アルバム編集画面に戻ります。

6 [📷] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面が出ます。
再生設定を変更する→[P25]

7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す



- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書き保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。

[保存中止]：編集後のアルバムを保存しません。

8 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム編集画面に戻ります。

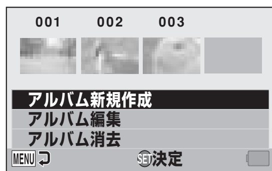
アルバムのファイルを消去する

アルバムに登録済みのファイルをアルバムから消去（登録削除）します。

1 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

2 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。



3 [アルバム編集] を選び、ファイルを削除するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集メニューが出ます。



4 [消去] を選び 、消去するファイルにオレンジ色の 枠 を 合 わ せ、[SET] ボタンを押す

5 [▲] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面が出ます。
  再生設定を変更する→[P25]

6 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す



- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。

[保存中止]：編集後のアルバムを保存しません。

7 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アルバムが保存できない？

- アルバムに登録しているファイルをすべて登録解除すると、操作 5 以降の操作ができなくなり、アルバムを保存することができなくなります。アルバムのファイルをすべて登録解除する場合は、アルバムを消去してください[P32]。

アルバムを消去する

消去したアルバムは復活できません。消去する前に、十分にアルバムの内容を確認してください。

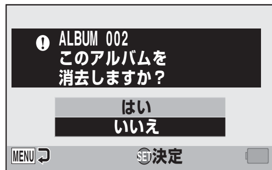
1 Xacti ライブラリメニューを出す [P9]

2 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。

3 消去するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[アルバム消去] を選んで [SET] ボタンを押す

- アルバム消去の確認画面が出ます。



4 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを消去し、アルバム編集画面に戻ります。



ヒント

消去したアルバム内のファイルは？

- アルバムを消去しても、元のファイルは残ります。ファイルの消去は、ファイルの再生画面から行なってください。

ハードディスクをフォーマットする

以下の操作で、ハードディスクをフォーマットすることができます。

1 Xacti ライブラリ機能でハードディスクのファイルを再生する画面を出す [P16]

2 オプションメニューの [フォーマット] を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットの確認画面が出ます。

3 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- 再度、フォーマットの確認画面が出ます。

4 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットを開始します。
- フォーマット中は、カメラやハードディスクの電源を切らないでください。

<フォーマットの仕様について>

- パーティションは一つになります(シングルパーティション)。
- フォーマット形式はFAT32です。



注意!

フォーマットを実行する前に

- フォーマットすると、ハードディスク内のファイルをすべて消去します。大切なファイルは、他のメディアにコピーしてください。

Xactiライブラリ起動時に「フォーマットしますか？」表示が出た？

- Xactiライブラリで使用できないフォーマットのハードディスクを接続しました。[はい]を選んで[SET]ボタンを押すと、ハードディスクのフォーマットを開始します。

仕　様

Xactiライブラリに使えるハードディスク

Xacti ライブラリで使用するハードディスクは、以下の条件を満たしているものです。

● USB2.0 に対応していること
USB1.x 対応のハードディスクは使用できません。

● 電源を自己供給できるもの
USB ケーブルから電源を取る（バスパワー方式）ハードディスクは使用できません。

● バックアップをとってください
保存したファイルにアクセスできなくなるなど、ハードディスクのトラブルに備えて、Xacti ライブラリに使用しているハードディスク内のファイルは DVD などにコピーしておくことをおすすめいたします。
万一、ハードディスクのトラブルでファイルを消失しましても、当社では責任を負いかねます。

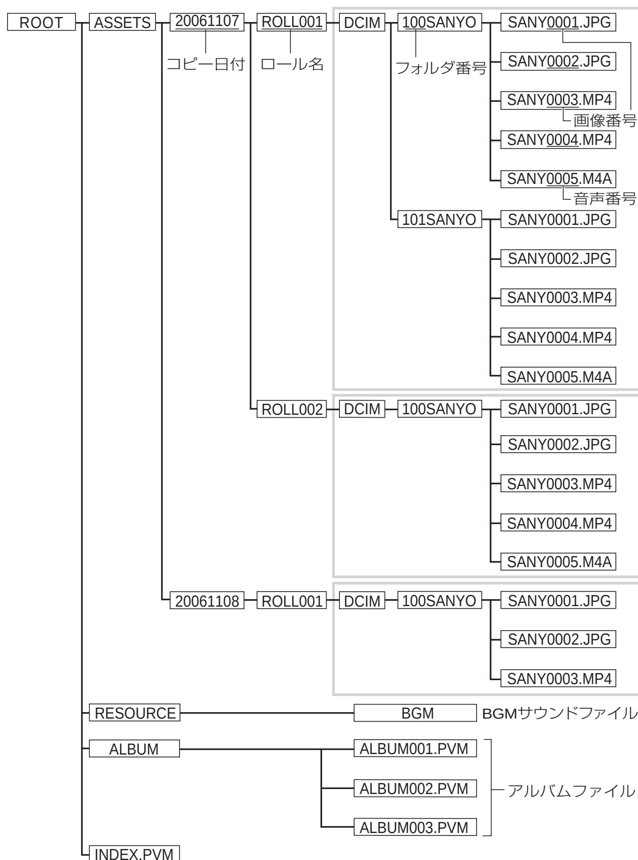
● FAT32 形式で初期化したハードディスクのみ
Xacti ライブラリで使えるハードディスクは、FAT32 形式で初期化したハードディスクのみです。他の形式で初期化したハードディスクは使えません。

● パーティションが複数ある場合は
なるべくシングルパーティションのハードディスクを使ってください。複数のパーティションがある場合は、優先順位の高いパーテションのみ使えます。他のパーテションは使えません。例えば、1 台のハードディスクに D：と E：のパーティションがある場合、Xacti ライブラリが使えるのは「D：」のみです。

● 最大容量は？
最大 2TB のハードディスクが使えます。

その他、詳しい情報は弊社ホームページで公開しています。
http://www.sanyo-dsc.com/

ハードディスクのディレクトリ構造



http://www.sanyo-dsc.com/

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

1AG6P1P5457--
SG31A/J(0309HS-SJ)